

平成18年度 新 教 育 課 程 調 査 研 究

学校名 魚津市立住吉小学校
所在地 〒937-0851 富山県魚津市住吉203
電 話 0765-22-1042
校長名 平 野 洋 次

学校の実態

1 学校規模

学級数 6学級 児童数 153名 教員数 10名

2 学校教育目標

豊かな心を持ち、自主性・創造性に富んだ実践力のある子どもを育てる。

目指す子供像

す すすんで学ぶ子 . . . 課題を持ち、他と積極的にかかわりながら学ぶ子

み みんなと仲良くする子 . . . 思いやりの心を持ち、協力して活動する子

よ よく活動する子 . . . 縦割り班活動・係活動・ボランティア活動等で場
に応じた活動ができる子

し しっかり体をきたえる子 . . . 進んで運動し、健康でたくましい体をつくる子

3 学校の特色と地域の現況

校区は魚津市南西部に位置し、自然に恵まれた近郊農業地帯であり、水族館やミラージュランド、新川文化ホールなどの公共施設がある。また、国道8号線の沿線には複数の大型店が進出し、商業地化して生活環境が大きく変化してきている。

子供たちは素直で明るい。今後は自主性や根気強さの育成が望まれる。保護者は、教育への関心が高く、学校内外の諸活動には保護者同士が連携しながら積極的に参加し、協力的である。

「地域発見ふれあい遠足」やサツマイモ栽培、お年寄りを招待してのフレンド集会、清掃活動などを縦割り班で取り組み、温かい人間関係づくりや思いやりの心をはぐくむのに寄与している。

研究の経過

平成5年度 ~ 6年度 学校週5日制実践研究地域協力校(文部省指定)
平成7年度 ~ 11年度 学校週5日制研究実践校(魚津市教育委員会指定)
平成10年度 ~ 12年度 魚津市立西部中学校区道徳的实践活動支援事業(文部省指定)
平成12年度 ~ 新教育課程調査研究事業(魚津市教育委員会)
平成17年度 ~ 19年度 理数大好き地域モデル事業指定(文部科学省指定)

1 教育課程上の工夫・改善

学習の基礎・基本の定着を図るとともに、一人一人のよさが生きる指導法や学習形態を充実するために、授業研究を定期的実施し授業の質的改善を図る。

ゆとりある生活リズムで過ごせるように配慮するとともに、教科等の特性を踏まえた柔軟な時間割編成を組むなど、児童に負担のかからないように日課運行を工夫する。

2 学校経営上の工夫・改善

他者との出会いをと対話を学習過程の中に組織することや個への細やかな支援を通して、一人一人の学びの質を高める。

保護者や学校支援ボランティアの授業参加や公開授業を増やして、開かれた学校づくりに努める。

誠意をもって地域の人と交わる、情報交換を密にするなど、学校と家庭・地域社会の連携を図りながら、学校安全の強化を図る。

公民館活動等の学校外活動への参加呼びかけや地域の教育力を効果的に活用する。

研究の成果の概要

1 教育課程上の工夫・改善

本年度も引き続き、「理数大好きモデル地域事業」の推進を図り、子どもたちにとって意義のある学習に取り組んできた。教育資源との連携を図り、自然の事物や事象に五感を通して、十分に触れ合い親しむ場の設定を図るように配慮した。活動を通して、生まれた一人一人の見方や考え方をより科学的なものの見方や考え方に深めていくには、「仲間とのかかわり」が不可欠である。また、「仲間とのかかわり」を生み出すためには、「自然や事象に十分触れ合う」「教育資源との必要感のあるタイムリーな出会い」「実験・観察等を通して働く仲間とのかかわりの場の設定」等が重要になってくる。自然の素晴らしさや不思議を存分に感得し、仲間とのかかわりを通して、新たに発見ができるように学ぶ楽しさを味わえるように工夫・改善を図るようにした。

【授業研究の実践】

- 1年 生活科 「あきをさがそう～むしはかせたいしゅうごう！～」
- 2年 算数科 「ひっ算のしかたを考えよう」
- 3年 算数科 「計算のしかたをくふうしよう」
- 4年 理科 「すずしくなると」
- 5年 理科 「流れる水の働き」
- 6年 理科 「大地のつくりと変化」



【理数大好き地域モデル事業】

学校と教育資源が連携し、教育資源の効果的な活用についての研究をねらいとし今年度も引き続き研究実践に取り組んだ

今年度は教育資源と連携した活動を8回実践し、実験、野外観察、施設見学を通して理数好きな子供の育成を目指した。また、東部教育事務所から、講師を招聘しよう要請訪問研修会を行い、理数好きな子供を育てるための授業づくりや環境づくりについての教員研修会を行い、指導力の向上を図るようにした。また、今年度は、授業研究において講師と担任とのTTによる学習を試みた。教育資源との効果的でタイムリーな出会いについて、実践を通して研究を深めるようにした。

平成18年度理数大好き地域モデル事業取り組み一覧

学年	連携单元名	教育資源
3年生	「こん虫をそだてよう(春・秋)」	ナチュラリスト鷹休立夫さん
	「じしゃく」	ワンダーラボ

4年生	「すずしくなると」「秋・冬の生き物ウォッチング」	吉田科学館
	「月の動き、星の動き」	魚津埋没博物館石須秀知学芸員
5年生	「生命の誕生」	魚津水族館高山茂樹学芸員
	「流れる水の働き」	立山カルデラ博物館
6年生	「環境チェック！住吉の用水」	富山西高校金子一夫教諭
	「大地のつくりと変化」	魚津水族館高山茂樹学芸員



鷹休先生に昆虫や総合公園の自然について、たくさん教えてもらいました。春と秋、2回行きました。



石須先生に植物についてたくさん教えてもらいました。学校の周りの草や木々が季節の変化に合わせて、へんしんしているのがよくわかりました！草や木たちも生きているんだね！！

【英語活動の実施】

- ・ 外部指導者 ……ハワード・テスさん、ルイスさん
- ・ 実施時数 ……1・2年 1時間 3年 4時間 4・5・6年 6時間
- ・ 英語活動は継続して実施しているので、ALTとも自然に接することができ、楽しく学習や活動を行っている。異文化にふれることや簡単な英語のあいさつやゲームに親しむことができた。

(2) 児童活動の充実

子供たちの自主性・主体性の育成を重点に、行事では児童の発想や創造性に取り入れるようにするとともに、成就感や所属感、連帯感が味わえる活動になるように工夫した。また、縦割り班活動では、活動内容や異年齢集団で子供同士のかかわり方を工夫し、子供たちの発達段階に応じた力を育成するように努めた。

(朝の活動) 8:10～8:25

- ・ 全校読書 (月・金曜日)

年間を通して毎週金曜日に、1～4年生にはボランティア2名の方による読み聞かせを行ってきた。また、月曜日についても、全校読書の日として位置づけ、じっくり落ち着いて読書に親しめるようにしている。

- ・ ステップアップタイム(火・水・木曜日)

基礎学力の定着を図るための取り組みの一つとして、計算や漢字練習などを行っている。



紙芝居にして読んでもらおうと、とても楽しいな～読み方がとても上手だなあ！

(ミラージュタイム) 10:15～10:25

晴れた日は全校一斉にグラウンドに出て、各学年に応じたコースでマラソンを行う。雨の日は、体育館で体操や縄跳び運動などに取り組んでいる。子供たちは自発的に目当てをもって取り組んでいる。年間を通して体力の向上を図るとともに、子供同士の交流を深めるようにしている。

(地域発見ふれあい遠足) 11月1日(水)

地域を実際に歩いたり施設訪問をしたりして、地域の自然環境や地域の人々の生活の様子を知り、また、縦割り班活動を通して、発達段階に応じた役割を果たし楽しく活動することをねらいに実施している。今年度は住吉地区に限定し自分たちが暮らしている「住吉」をより深く理解できるように考え実施した。

- ・ 訪問先

魚津水族館、総合公園、大根農家、花苗栽培農家、野菜栽培農家、稲作農家、JA 倉庫、魚津市給食センター、下中島公民館、新川文化ホール、サケの築場、宮津八幡宮、住吉神社、

- ・ 1年生から6年生まで縦割り班が、それぞれに行き先を決めて、事前に班ごとに訪問先と連絡を取り、目当てをもって訪問見学した。また、遠足後にはそれぞれの班の新聞作りをして掲示した。



宮津八幡宮の「ちゃんちゃん石」です！大きいなあ！
たたいてみよう～



とっても大きなハウスでした。野菜たちがあおあおと育っていました！

〈フレンド集会〉 10月19日(木)

- ・ 地域のお年寄りの方を招待し、縦割り班に分かれ、会食を行ったり昔の遊びを教えてもらったりした。今年度は、お年寄りのみなさんと一緒に体育館で給食を食べました。



お年寄りの方々と一緒に給食を食べました！今の給食は「とってもおいしいよ」と言われました。
折り紙を教えてもらいました。とっても優しく教えてもらいうれしかったなあ！

2 学校運営上の工夫・改善

豊かな心や自主性・創造性をはぐくむために、ボランティア活動や楽しくふれあう行事など体験的な活動を推進した。

〈親子体験活動〉 各学年ごとに開催日を設定し実施。

- | | | |
|-----|--------|-------------|
| 1年生 | 10月26日 | 「親子でドッジボール」 |
| 2年生 | 10月20日 | 「絵手紙教室」 |

3年生	11月11日	「食育クイズ&米粉ドーナツ作り」
4年生	11月11日	「親子でビーチボール」
5年生	11月11日	「理科実験」
6年生	8月19日	「親子でビーチボール」

《親子労力奉仕》8月28日(日)

夏休みの最終日曜日の早朝に、毎年草むしり、溝掃除、ガラスふき、トイレ掃除などを児童、保護者、教職員協働で行っている。今年もほとんどの保護者、児童が参加して作業を実施した。きれいな学校でさわやかに2学期を迎えることができた。

《ゴミ0運動》

夏休み、冬休み、春休み前に登校班で集団下校を行い、通学路のゴミ拾いを行っている。高学年は低学年の子供たちに教えながら手際よく行っている。また、その際に「子供110番の家」にあいさつをしている。

3 学校外活動

主体性のある生活を目指し、ゆとりの中で生きる力を育てるために、公民館活動を主体とした学校外活動にも積極的に参加するように勤めている。

《公民館事業》

- 少年教室・・・・・・1年～4年参加、年間6回実施
(歩こう会、ちぎり絵教室、工作教室、)
- サークル活動・・・・蝶六サークル(10回)
抹茶サークル(9回)
- ふれあい学級・・・・にんじん作り、収穫祭、まゆ玉作り

『魚津祭り、町流しへの参加』



《親子ニュースポーツ》

夏休み中の夜間4回にわたり、教育振興会と地区の体育振興会の共済による親子ニュースポーツが行われた。親子で参加し、和やかに汗を流し楽しそうであった。

4 学校としての評価と今後の課題

理数大好き地域モデル事業の指定を受け、理科を中心として、教育資源との連携を図った授業実践を行った。立山カルデラ博物館や魚津水族館での学習、地層の観察、用水の水質検査、総合公園での昆虫採集など、学校の外に飛び出し体験的に学び、専門家の指導を受けるなど、楽しく充実した学習を展開することができた。また、今年度は講師と担任とのTTの学習に積極的に取り組み、専門家とのタイムリーな学習の場での出会いを創造できた。

子供が問題を見つけ、自分自身で追究する、また、友達とかかわりながら学習を深め

るなど、学び方を身に付けさせるように、学年の発達段階に応じた系統的な指導が必要である。

各行事や活動において、縦割り班活動が定着しつつある。異学年の児童が仲良く思いやりながら、活動できるようになってきている。

公民館活動が大変盛んで充実している。多くの児童が自発的に参加し楽しそうである。今後も家庭や地域と連携しながら、子供たちの健全育成を図っていきたい。